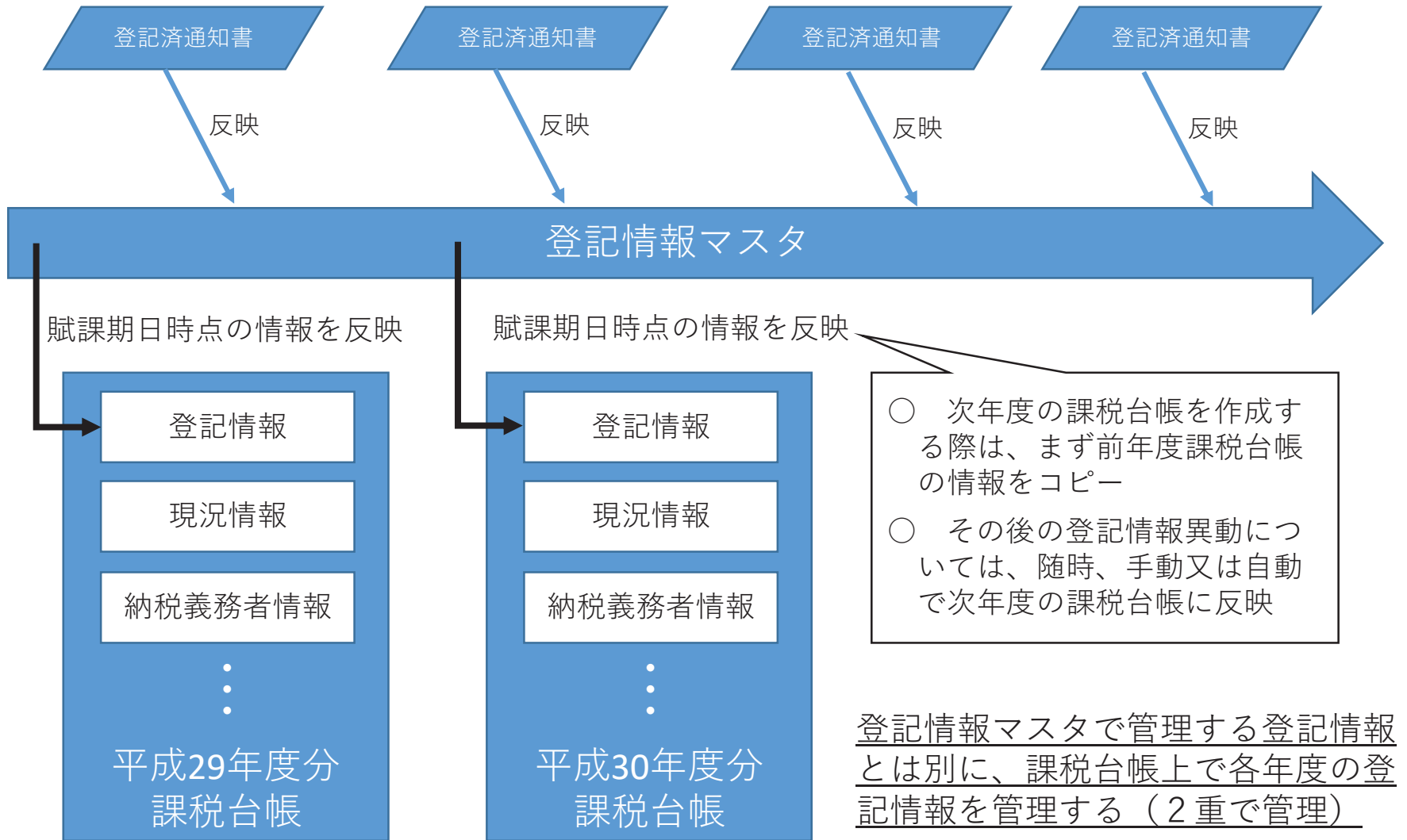


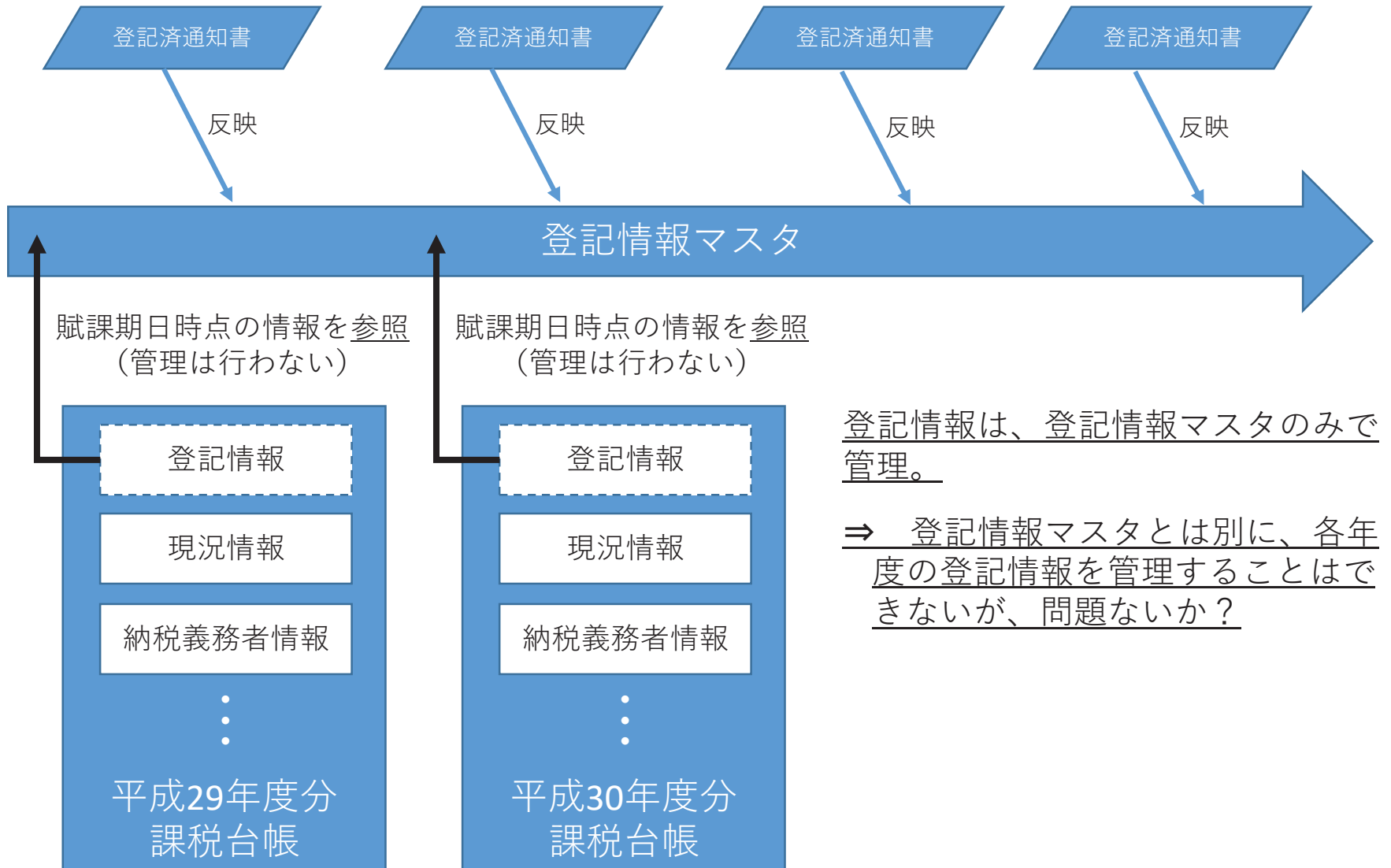
# 登記情報の管理について（土地・家屋共通）

論点①

## ① 現在の標準仕様書（案）における想定



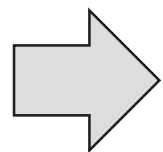
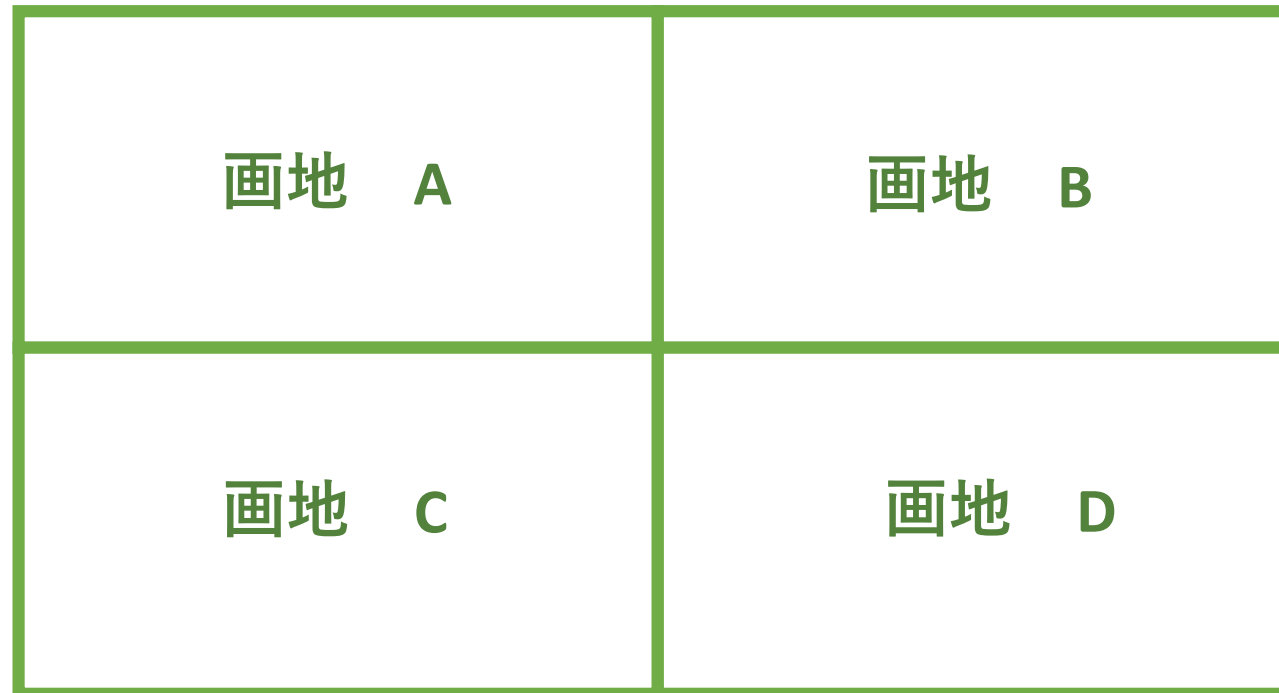
② 別案



1筆と1画地が異なる場合の取扱い

【1筆4画地の場合】

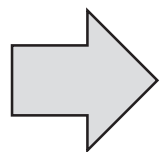
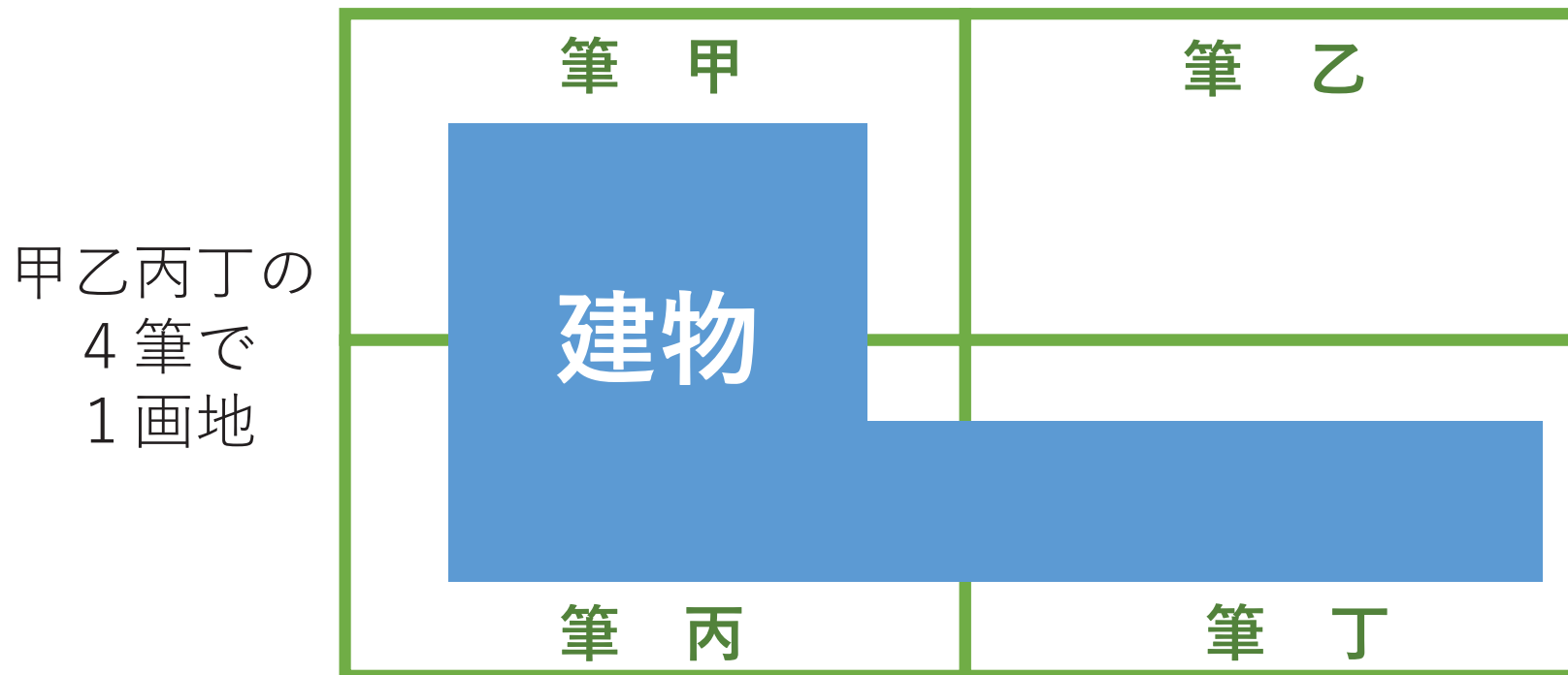
1筆が  
ABCD 4画地  
に分かれる



- A・B・C・Dのそれぞれで課税台帳を1ページずつ作成
- A・B・C・Dの4つで1筆であることが分かる必要  
(地番で紐付くため個別の要件は不要か?)

1筆と1画地が異なる場合の取扱い

【4筆1画地、うち3筆に建物が存在する場合】



- 甲・乙・丙・丁は筆が異なるため、それぞれ課税台帳を1ページ作成
- 甲・丙・丁と、建物がそれぞれ紐付く必要
- 甲・乙・丙・丁が一つの画地を形成していることが分かる必要